

7/9
(土)

「かごしまの島々フェア」開催 離島振興の発展に



会場特設ブースで特産品を紹介

7月9日と10日の2日間、イオンモール鹿児島（鹿児島市）で「かごしまの島々フェア」が開催され、獅子島のうまかもん幣串（濱明枝代表）が参加しました。

これは鹿児島県離島振興協議会の主催で行われ、獅子島をはじめ、甌島や種子島、トカラ列島など県内9の離島関係市町村が参加しました。

当日は獅子島の「アオサ」をはじめ、甌島の「キビナゴ」、瀬戸内町の「イカ」など島々の特産品が並びました。

訪れたかたがたは、離島ならではの品々に興味を示し、手に取っていました。

7/11
(月)

町建友会が清掃ボランティア 安心して使用できるよう

7月11日、長島町建友会が小浜海水浴場と松ヶ平海水浴場周辺の清掃ボランティア活動を行いました。

今年度は3年ぶりに海開きがされることから、きれいな海岸を保つために会員35人が作業に励みました。

初夏の日差しの下、会員らは道路や駐車場にとび出した木の伐採、砂浜の整備に汗を流しました。

同会の木場盛二会長は「久しぶりに海水浴に訪れるかたがたが、安心して楽しんでもらえたら」と語りました。

清掃作業に励む会員ら



7/11
(月)

濱田さんが町へ寄付 これまでの感謝を込めて

7月11日、濱田貫雄さん（汐見）が町へ寄付金を贈りました。

濱田さんは町議会議員を12年、農業委員を15年務めるなど、これまで町へ多大な貢献をされてきました。

また、町内初の芸能一座「酔いどれ芸能一座」の座長として、歌や踊りなど多種多様な芸を披露し、長島町に笑顔の花を咲かせてきました。

濱田さんは「これまでたくさんのかたに助けをもらいながら生きてきた。その感謝を込めて町の発展のために使ってもらえたら」と話しました。



川添町長へ目録を手渡す濱田さん(写真右)